

事業計画										再評価の理由	再評価の視点										前回審議年度	対応方針(原案)						
事業名	施設名	事業主体	事業箇所	事業概要	工 期		事業費 (億円)	事業進捗の状況及び見込み					関連事業の状況	社会経済情勢の変化	地元等の意向	費用対効果分析		コスト削減及び代替案立案の可能性の有無										
					着工	完了		前年度延事業費 (億円)	進捗率 (%)		用地漁採率 (%)	H20年度事業費 (億円)				H21年度以降事業費 (億円)	B/C		分析基礎の要因の変化									
																				上段：当初			下段：変更	当初	現行			
水産部																												
水産基盤計画課																												
水計 ー1	広域漁港整備事業 (一般)	荒川地区 (荒川漁港)	県	五島市 玉之浦町	(当初) 防波堤(改良)70m 護岸(改良)30m -5m岸壁(A)60m -5m岸壁(B)1基 -4m岸壁(補修)150m -3m岸壁200m -3m岸壁(補修)100m -2m物揚場(補修)70m 浮桟橋1基 船揚場30m 補助突堤(A)50m 補助突堤(B)40m 補助突堤(C)50m 道路660m 用地(A)8,700m2 (変更) -5m岸壁(A)60m -5m岸壁(B)1基 -4m岸壁(補修)150m -3m岸壁50m -3m岸壁(補修)100m -2m物揚場(補修)70m 道路330m 用地(A)2,000m2 用地(護岸)(A)26m	H14	H23	15.0						漁業情勢の急激な変化による計画の見直し	3.4	81	-	0.0	0.8	荒川漁港環境整備事業	陸揚げ量及び利用漁船ともに減少傾向にある。	当地区に漁業関連施設を集約し流通の効率化を図る地元計画は、漁業経営の悪化のため、内部調整により取りやめとなった。	1.27	1.19	事業見直しによる総費用額の減少	代替案の可能性はない	ー	見直し継続
土木部																												
港湾課																												
港湾 ー1	久山港改修事業	久山地区 国内物流ターミナル整備	県	諫早市	(当初) 航路(-5.5m) 11,000 泊地(-5.5m) 33,000m2 護岸(防波) 280m 岸壁(-5.5m)(A) 100m 岸壁(-5.5m)(B) 100m 道路(A) 6m×1,440m 道路(C) 6m×45m 道路(D) 6m×210m 橋梁(A) 1基 橋梁(B) 1基 (変更) 泊地(-5.5m) 65,700m2 護岸(防波) 70m 岸壁(-5.5m)(A) 100m 道路(A) 6m×1,300m 道路(C) 6m×45m 橋梁(A) 1基 橋梁(B) 1基	H6	H19	38.9						再評価後5年経過	31.5	88	100	1.1	3.3	特になし	H19.9に1バース目の暫定供用を開始したが、取扱数量が、計画した数量に比べて少ない状況である。	供用中の1バースについては、砂業者1社、1組合及び金属業者、木材業者が調整しながら岸壁を使用しており、早期完成が望まれている。	1.69	1.26	・事業費の見直しによるもの ・需要の見直しによるもの	可能な限りコスト削減を図る代替案の可能性はない	H15	見直し継続
都市計画課																												
都計 ー6	土地区画整理事業 (うち住宅市街地基盤整備事業)	高田南土地区画整理事業	町	長与町	A=49.8ha (A=49.8ha) 建物移転257戸 (21戸) 宅地造成323,100m2 (0m2) 道路築造18,391m (860m) 公園、緑地18,251m2 (0m2)	S58(H9)	H20(H20)	234.4(16.2)						再評価後5年経過(2年経過)	175.1(8.1)	69(33)	ー	8.5(4.6)	77.1(11.5)	都計道・赤迫線H14完成 都計道・高田線H12完成 都計道・道の尾駅前線 H21完成予定	地区内都市計画道路の一部が完成し、沿道利用が進み、また造成が済んだ宅地について建築が行われ、団地が形成されてきている。	早期完成が望まれている。	1.88(1.98)	2.09(2.09)	当初算出はなし	土工事の効率的な施工代替案の可能性なし	H15(H18)	継続